

研修報告 総務民生常任委員会
栃木県那須塩原市・茨城県つくば市を研修

去る2月16日(火)、17日(水)城里町議会総務民生常任委員会は、緊急時の災害応急対策の参考とするため、平成27年9月に豪雨災害を受けた那須塩原市に、また、茨城県つくば市の茨城県防災航空隊の活動内容について視察研修をしてみました。

○那須塩原市役所



豪雨災害時の状況を聞く

概要

那須塩原市は、昨年9月の関東・東北豪雨により土砂崩れによる建物被害、河川の氾濫による建物浸水、また、基準雨量超過により国道道路の通行止め、土砂崩れによ

る市道の通行止め、また、冠水による農地の被害等が発生し、現在もなお復旧作業、被害者支援等が進められている。

**災害応急対策計画
初動体制**

災害応急対策計画による職員の参集基準と役割分担の明確化。

- (1) 注意準備態勢 (総務部長)
 - ・ 震度4以上の地震
 - ・ 9時間以内台風接近
- (2) 警戒態勢 (総務部長)
 - ・ 震度5以上の地震
 - ・ 6時間以内台風直撃
- (3) 非常態勢 (市長)
 - ・ 震度6弱以上の地震
 - ・ 24時間連続雨量200mm
 - ・ 災害救助法適用時

目的

都市構造の変化や災害態様の複雑多様化に対応し、茨城県消防防災体制の強化を図る
 平成7年4月運行を開始。

○茨城県防災航空隊



救助機材の説明



上空30メートルからの救助訓練



救助にかかる所要時間

活動内容

- (1) 緊急運航
 - ・ 救急活動 (救急患者・医師・医療資材・傷病者の搬送)
 - ・ 救助活動 (河川・海・山岳遭難・高層建築火災・山崩れ等災害の救助)
 - ・ 災害応急対策活動 (地震・台風・豪雨・津波等状況把握・広報・住民への避難誘導・警報等の広報)
 - ・ 火災防御活動 (林野火災等消火活動・情報収集・伝達・住民への避難誘導等の広報・消火資材、消火要員等の輸送)

- (2) 通常運航
 - ・ 広域航空消防防災応援活動など (航空消防防災応援協定による交互応援・緊急消防援助隊要網等に基づく応援)
 - ・ 災害予防対策活動
 - ・ 自隊訓練・一般行政活動

県民の安心安全の為、日々の過酷な訓練を受ける隊員に感銘を受けるとともに、災害に対する職員の日頃からの意識がいかに大切であるかを認識しました。
 町民が安心して生活できるように防災体制の強化や災害に対する備えが必要なことはもとより、災害対応として、職員の迅速な初動、町民への周知、的確な情報収集は、その後の救急活動や救助活動に直接的に繋がっていきます。
 今後も積極的な対策を講じ、災害に強い町づくりのために、参考となる視察研修となりました。

昨年の埼玉県温泉施設の研修成果をホールの湯の運営に反映させ、取り組んでいます。

研修報告 教育産業常任委員会

千葉県香取郡多古町・
千葉県安房群鋸南町を研修

去る2月25日(木)、26日(金)城里町議会教育産業常任委員会は、地場産業を活性化させ、第6次産業に取り組んでいる多古町、都市農村漁村交流の場として廃校になった小学校を有効利用している鋸南町で視察研修をしてまいりました。

○多古町



米やサツマイモの開発商品

概要

千葉県北総大地の東側に位置し、中央を栗山川流域は水田地帯が広がり「多古米」という良質米の産地。農産物も良質のものが収穫される。

農業の現状と特徴

良質の米やサツマイモ、ニンジンなどの農産物が収穫される条件の良い恵まれた地域である一方、農業従事者の高齢化、後継者不足、市場での価格が採算に合わない等の実情がある。

米生産の専業農家、中小農家は、それぞれに米、野菜を中心とした産地直送(販売契約)を行っている。第6次産業化事業については、農業の活性化を図るため農業と商業が連携し農畜産物を活かした後援会や懇談会を開催し、多くの特産物開発の支援などを行っている。

新商品については、積極的にマスコミ等に情報発信を行っている。



音楽室：会議室

○鋸南町・道の駅
保田小学校

概要

千葉県の南、房総半島西南、鋸山の南に位置し、城下町・勝山と港町・保田を合わせて昭和43年に合併した。平均気候は18度と温暖で、東京にも近い地理である。

背景・経緯

平成26年度に閉校となり、住民の喪失感、農林水産業の減退、人口減少の加速が懸念されたが、新たに都市農産漁村交流の拠点として活用を目指し、また農業漁家の経営安定化、離農、地区外流出を抑制し、地区安定促進を目的に、5か年継続事業として再生を試みた。

地方創生の拠点として「進化し続ける道の駅」「地域福祉・地域移



校舎：食堂、温浴・宿泊施設



体育館：直売所

住促進」の機能強化を目指す国の認定「道の駅」は、様々なプロジェクトを展開している。

両町ともに自然・文化歴史を守り、地場産業を育て、次世代に繋げようと懸命な努力があった。

しかし、農業・漁業分野において、高齢化による後継者不足は顕著であり、本町においても同じことがいえる。

だが、農産物の販売や第6次産業化・ブランド化を通じ、農家の経営安定を図り、町の観光や食の情報幅広く提供することは、地域の活気や安定を促進することになり、町の人口減少にも歯止めをかける大きな抑止力になる。

本町においても既存の資源を有効的に活用し、地場産業を守り育てることが、地域を活気づけていくことに繋がっていくと感じた。

議会の動き



全国・茨城県町村議会議長会より本町議会議員が受賞

2月15日(月)茨城県市町村会館で開催された町村自治功労者表彰式において、多年にわたり地方自治の振興発展に寄与された功績により、下記の議員が受賞されました。

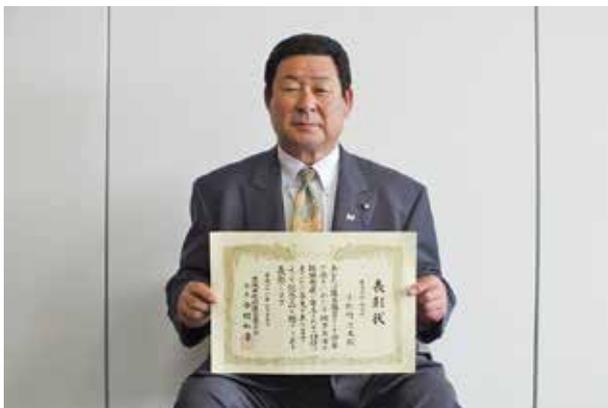
全国町村議会議長会から

議員在職15年以上

- 南 條 治 議員
- 杉 山 清 議員



杉山 清 議員 南條 治 議員



小松崎 三夫 議員

茨城県町村議会議長会から

議長在職5年以上

- 小松崎 三夫 議員

議員在職20年以上

- 小松崎 三夫 議員

議員在職12年以上

- 関 誠一郎 議員
- 阿久津 則 男 議員
- 桐 原 健 一 議員
- 小 林 祥 宏 議員



左から 関 誠一郎議員、阿久津 則男議員
桐原 健一議員、小林 祥宏議員

2月12日

県北中央町村議会議長会議員研修会



内閣審議官
末宗 徹朗氏

2月12日(金)、大子町にて、
県北中央町村議会議長会議員主催の
研修会が開催されました。
当日は、講師として内閣審議
官末宗 徹朗様(まち・ひと・
しごと創生本部事務局次長)を
迎え、「まち・ひと・しごと創生
について」の講演が行われまし
た。

2月19日

町村議会議員自治研究会



茨城県副知事
楠田 幹人氏



大妻女子大学教授
田代 洋一氏

2月19日(金)、茨城県市町村
会館にて、町村議会議員自治研
究会が開催されました。
県内12町村の議会議員約
200人が参加し、講師として
茨城県副知事 楠田幹人氏によ
る「県政の当面の課題」、また大
妻女子大学教授 田代 洋一氏に
は「農政を取り巻く情勢と今後
の展望」と題して講演が行われ
ました。

常任委員会報告

総務民生常任委員会



2月22日(月)
城里町役場 3階 委員会室

傍聴人2人

【協議事項】

- (1) 城里町役場庁舎建設について
 - ・ 役場庁舎一部床面高低等調査